B6FH-D328-02 Z0-02

Fujitsu Desktop ESPRIMO

ESPRIMO G6012/K
ESPRIMO G6012/KW

BIOS セットアップメニュー一覧

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Coreは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Limited 2022-2023

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
情報 (→P.2)	BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。
システム (→P.3)	日時や言語を設定します。
詳細 (→P.3)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。 また、イベントログに関する設定を行います。
セキュリティ (→P.6)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
電源管理 (→P.8)	停電復旧時の動作や、Wake on LAN機能などを設定します。
起動 (→P.9)	起動時の動作について設定します。
終了 (→P.9)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。
  あらかじめご了承ください。

POINT

- ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
  ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定項目	
システム	システム時刻	
	システム日付	
	言語（Language）	
	ポインティングデバイスサポート	
詳細	CPU設定	Turbo Mode
		Intel(R) GNA
	System Management	FAN制御
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定	
終了	変更を保存して終了する	
	変更を保存せずに終了する	
	変更を保存する	
	変更を保存して電源を切る	

情報メニュー

BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。設定を変更することはできません。

設定項目	備考
型名	
製造番号	
BIOS版数	
ベースボード製品	
ベースボード製造番号	
カスタムメイド番号	
UEFI仕様版数	
アクセスレベル	BIOSセットアップを管理者用パスワードで起動した場合は「管理者」、ユーザー用パスワードで起動した場合は「ユーザー」と表示される
CPUタイプ	
全メモリ容量／動作周波数	
DIMM1 / CHA2	
DIMM2 / CHB1	
MACアドレス	
パススルー MACアドレス	
UUID	
Open Source Software License Information	
Copyright Fujitsu Client Computing Limited YYYY	著作権表示

システムメニュー

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
システム時刻 00：00：00～23：59：59	・【Tab】キー／【Enter】キー …右の項目に移動 ・【Shift】＋【Tab】キー …左の項目に移動 ・数字キーで入力
システム日付 2000/01/01～2099/12/31	・【Tab】キー／【Enter】キー …右の項目に移動 ・【Shift】＋【Tab】キー …左の項目に移動 ・数字キーで入力 ・Windowsでは、OSが自動的に変更する場合あり
言語（Language） □English（US）　■日本語（JP）	
キーボードレイアウト □英語　□スペイン語 □フランス語　□ブラジル語 □オランダ語　□ドイツ語 □イタリア語　□スウェーデン語 □デンマーク語　□フィンランド語 □ノルウェー語　□ロシア語 ■日本語　□韓国語 □中国語	BIOSパスワードを設定している場合は設定不可
ポインティングデバイスサポート □使用しない　■使用する	

詳細メニュー

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
起動設定	
強制ネットワーク起動 ■使用しない　□使用する	
ネットワーク起動 □使用しない　■使用する	
IPV4環境でのネットワーク起動 □使用しない　■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「ネットワーク起動」が「使用する」 ※注3
IPv4 HTTP Support ■使用しない　□使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「ネットワーク起動」が「使用する」 ※注1
IPV6環境でのネットワーク起動 □使用しない　■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「ネットワーク起動」が「使用する」 ※注3
IPv6 HTTP Support ■使用しない　□使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「ネットワーク起動」が「使用する」 ※注1
起動エラー時の動作 □起動を続ける ■キー押下まで待つ	※注2
キーボードエラー検出 □使用しない　■使用する	
ドライブ設定	
SMART診断 □使用しない　■使用する	
ドライブ0（M.2 SSD1） □使用しない　■使用する	接続されているデバイス名、およびディスク容量（接続されているデバイスがストレージの場合）が表示される
ドライブ1（M.2 SSD2） □使用しない　■使用する	接続されているデバイス名、およびディスク容量（接続されているデバイスがストレージの場合）が表示される
ドライブ2（SATA1） □使用しない　■使用する	接続されているデバイス名、およびディスク容量（接続されているデバイスがストレージの場合）が表示される
ドライブ3（SATA4） □使用しない　■使用する	接続されているデバイス名、およびディスク容量（接続されているデバイスがストレージの場合）が表示される

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
シリアルポート設定	
シリアルポート（FlexIO） □使用しない　■使用する	シリアルコネクタ搭載機種のみ表示
キーボード設定	
起動時のNumLock設定 ■オン　□オフ	Windowsログオン後は前回終了時の状態になる
その他の内蔵デバイス設定	
Audioコントローラー □使用しない　■使用する	
Bluetooth(R) □使用しない　■使用する	無線LAN／Bluetooth搭載機種のみ表示
内蔵LANデバイス □使用しない　■使用する	
無線LANデバイス □使用しない　■使用する	無線LAN／Bluetooth搭載機種のみ表示
CPU設定	
HTテクノロジー □使用しない　■使用する	対応CPU搭載時に設定可能
Turbo Mode □使用しない　■使用する	・対応CPU搭載時に設定可能 ※注1
Virtualization Technology □使用しない　■使用する	
Intel(R) VT-d □使用しない　■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「Virtualization Technology」が「使用する」
Intel(R) GNA □使用しない　■使用する	対応CPU搭載時に設定可能
C States □使用しない　■使用する	※注1
Package C State Limit □C0/C1　□C2　□C3 □C6　□C7　□C7S □C8　□C9　□C10 □Cpu Default　■自動	※注1

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
USB設定	
USBポート □使用しない　■使用する	
前面 □使用しない　■使用する	
左上 □使用しない　■使用する	
左下 □使用しない　■使用する	
USB C □使用しない　■使用する	
背面 □使用しない　■使用する	
左上 □使用しない　■使用する	
USB C □使用しない　■使用する	
上中央 □使用しない　■使用する	
下中央 □使用しない　■使用する	
右下 □使用しない　■使用する	
各種設定	
MACアドレスパススルー ■使用しない　□使用する	
Intel(R) Management Engine設定	
ME版数	

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
System Management	
コントローラー	
ファームウェア版数	
Feature Level	
FAN制御 スタンダードモデル／光学ドライブモデル／24時間モデルの場合 ■Enhanced　□自動 □Full　□Silent 液晶一体型の場合 □Enhanced　■自動 □Full　□Silent	※注1
温度	
CPU	温度センサー（CPU）の現在の状態
Ambient	温度センサー（Ambient）の現在の状態
Core	温度センサー（Core）の現在の状態
PHC	温度センサー（PCH）の現在の状態
Mem	温度センサー（Mem）の現在の状態
M.2	温度センサー（M.2）の現在の状態
FAN	
CPU	CPUファンの現在の状態
イベントログ設定	
イベントログ領域の状態	
イベントログ内容の状態	
イベントログの表示 ＞Enter	⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「イベントログを確認する」を参照
イベントログ □保存しない　■保存する	
イベントログの消去 ■いいえ □次回起動時に消去します	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「イベントログ」が「保存する」 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「イベントログを消去する」を参照
イベントログフル ■何もしない □すぐに消去する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「イベントログ」が「保存する」

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
Intel(R) Ethernet Connection (17) I219-V	・オンボードLANデバイスのオプションROMに関するサブメニュー ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「ネットワーク起動」が「使用する」 ※注1
DFCI管理	
Zero-touch UEFI Management	
Opt In ＞Enter	・「Opt Out」を実行すると表示される ・実行すると再起動する
Opt Out ＞Enter	・「Opt In」を実行すると表示される ・実行すると再起動する
Subject	
Thumbprint	
DFCIデバイス設定	
DFCI 無線LAN ■使用しない　□使用する	
DFCI Bluetooth(R) ■使用しない　□使用する	
DFCI 内蔵LANデバイス ■使用しない　□使用する	
DFCI Audioコントローラー ■使用しない　□使用する	
DFCI HTテクノロジー ■使用しない　□使用する	
DFCI VTD ■使用しない　□使用する	

注1：本設定は初期値のまま変更せずにお使いください。
注2：本設定を「起動を続ける」に設定しても、エラーメッセージは表示され、イベントログにも記録されます。
注3：ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

セキュリティメニュー

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード	設定状況を表示
ユーザー用パスワード	設定状況を表示
管理者用パスワード設定 ＞Enter	⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード設定 ＞Enter	⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード文字数 3～32（初期値：4）	・「管理者用パスワード」設定時に設定可能 ・ユーザー用パスワードの設定可能文字数（3～32）を設定
起動時のパスワード ■使用しない □最初のみ □毎回	・「管理者用パスワード」設定時に設定可能 ・使用しない…本パソコンの起動時に、パスワード入力の要求なし ・最初のみ…本パソコンの電源を入れたときにのみ、パスワード入力を要求 ・毎回…本パソコンの起動時ごとに、パスワード入力を要求 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
自動ウェイクアップ時 ■使用しない　□使用する	・LAN／タイマーなどによる自動ウェイクアップ時のパスワード要求有無を設定 ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「起動時のパスワード」が「最初のみ」または「毎回」 ・使用しない…自動ウェイクアップ時での起動時に、パスワード入力を要求なし ・使用する…自動ウェイクアップ時での起動時に、パスワード入力の要求 ・ハードディスクパスワードの入力スキップは不可
取外し可能なディスクからの起動制限 ■使用しない　□使用する	・「管理者用パスワード」設定時に設定可能 ・使用しない…全てのユーザーが取外し 可能なディスクから起動可能 ・使用する…管理者だけが取外し 可能なディスクから起動可能
システムファームウェア更新機能 □使用しない　■使用する □使用する（制限付き）	※注1
デバイスファームウェア更新機能 ■使用する □使用する（制限付き）	

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
起動メニュー □使用しない　■使用する □毎回表示する	
システムファームウェアロールバック ■使用しない　□使用する	
ハードディスクセキュリティ	
ドライブn	・搭載されているドライブごとに表示される ・設定状況を表示
ユーザーパスワード設定 ＞Enter	電源投入直後にBIOSセットアップを起動した場合に設定可能 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
起動時のパスワード入力 □使用しない　■使用する	・ハードディスクユーザーパスワード設定時に設定可能 ・再起動時は、本設定に関係なくパスワード入力の要求なし ・使用しない…本パソコン起動時に、ハードディスクパスワード入力の要求なし ・使用する…本パソコン起動時に、ハードディスクパスワード入力を要求 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
所有者情報	
所有者情報	設定状況を表示
所有者情報設定 ＞Enter	
TPM（セキュリティチップ）設定	
セキュリティチップデバイス TPM 2.0 (IFX) Intel(R) PTT	・TPM 2.0搭載時は「TPM 2.0 (IFX)」と表示 ・セキュリティチップ非搭載の場合は、「Intel(R) PTT」と表示
ファームウェア版数	
ベンダー	
セキュリティチップ □使用しない　■使用する	設定変更は再起動後に有効
TPM状態の変更内容 ■変更しない　□クリアする	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「セキュリティチップ」が「使用する」 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「セキュリティチップの設定を変更する」を参照

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
ハッシュアルゴリズム設定	
SHA-384サポート ■使用しない　□使用する	・チップセット内蔵のセキュリティ機能（Intel(R) PTT）使用時設定可能 ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「セキュリティチップ」が「使用する」
セキュアブート設定	
セキュアブート	・設定状態を表示 ・「セキュアブート機能」が「使用する」時は「有効」、「使用しない」時は「無効」と表示される
署名情報の保護	・設定状態を表示 ・「無効（セットアップモード）」または「有効（ユーザーモード）」と表示される
署名情報の状態	・設定状態を表示 ・「標準」または「カスタム」と表示される
セキュアブート機能 □使用しない　■使用する	
署名情報設定 ■標準　□カスタム	
署名情報の管理	
署名情報の初期化 □使用しない　■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
署名情報の初期化	下記の項目が次のように設定されているときに表示／設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」 ◆「署名情報の初期化」が「使用する」
署名情報の削除	下記の項目が次のように設定されているときに表示／設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」 ◆「署名情報の初期化」が「使用しない」
キーの保存	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Device Guard Ready	
3rd-party UEFI CA □使用しない　■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Restore DB defaults	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
Secure Boot variable	
Platform Key(PK)	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Export	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Update	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Key Exchange Key(KEK)	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Export	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Update	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized Signatures(db)	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Export	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Update	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
Forbidden Signatures(dbx)	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Export	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Update	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized TimeStamps(dbt)	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Export	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Update	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
OSRecivery Signatures(dbr)	
Update	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」

注1：「使用する（制限付き）」に設定したときは、Windows UpdateによるBIOS更新機能は利用できません。

電源管理メニュー

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
AC通電再開時の動作 ■電源OFF □電源ON □自動	・設定変更は再起動後に有効 ・電源OFF…通電再開時に一瞬電源が入り、WoLなどを初期化。その後電源OFF。 ・自動…電源断発生時の状態による。 起動中、スリープは「電源ON」 シャットダウン、休止状態は「電源OFF」 ※注1
電源オフ時のUSB電源供給 スタンダードモデル／光学ドライブモデル／24時間モデルの場合 ■電源OFF　□電源ON 液晶一体型の場合　※注2 □電源OFF　■電源ON	設定変更は再起動後に有効
USB Type-Cポートへの給電 ■最大3A/15W □最大1.5A/7.5W □最大900mA/4.5W □給電しない	設定変更は再起動後に有効
PC-ディスプレイ電源連動機能 □使用しない　□電源ONのみ ■使用する	設定変更は再起動後に有効
LANによるウェイクアップ ■使用しない　□使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注3 ※注4 ※注5 ➪『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「Wake on LANを有効にする」を参照
時刻による電源ON ■使用しない　□使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注3 ※注4 ※注6
時刻 HH:MM:SS	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻による電源ON」が「使用する」
日付 0～31	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻による電源ON」が「使用する」

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
キーボードによるウェイクアップ スタンダードモデル／光学ドライブモデル／24時間モデルの場合 ■使用しない　□使用する □専用キーのみ 液晶一体型の場合　※注2 □使用しない　□使用する ■専用キーのみ	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「電源オフ時のUSB電源供給」が「電源ON」

注1：UPSなどを使って通電再開時に電源を投入させたい場合は、「電源ON」に設定してください。ただし、「電源ON」設定時に、本パソコンの電源切断状態からAC入力に瞬断が発生すると、本パソコンの電源が投入されることがあります。
注2：液晶ディスプレイ前面の電源ボタンでパソコンの電源を入れる場合は、本設定にする必要があります。異なる設定にしていると、パソコンの電源が入らないのでご注意ください。
注3：Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。
注4：「AC通電再開時の動作」を「使用しない」に設定した場合、停電などのAC電源切断が発生すると、次に本パソコンの電源を入れるまで本機能は使用できなくなります。
注5：省電力状態（スリープ状態）からレジューム（復帰）させることはできません。デバイスマネージャーでの設定が必要です。
注6：省電力状態（スリープ状態）からレジューム（復帰）させることはできません。タスクスケジューラまたはタスクでの設定が必要です。

起動メニュー

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
起動デバイス順位の初期化 ■いいえ　□はい	
UEFI起動デバイス追加時の優先順位 □標準　□最上位　■最下位	
起動デバイスの優先順位	OSを読み込むデバイスの優先順位を設定 ※注1 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「起動デバイスを変更する」を参照
Boot Optiovn #n #1: Windows Boot Manager （[HDDデバイス名]） #2: UEFI: IPv4 [LANデバイス名] #3: UEFI: IPv6 [LANデバイス名]	nは起動の順位を示す ・カスタムメイドオプションおよびお使いの状況により、起動順位および起動順位の数は異なる ・「UEFI: [CD/DVDドライブ名]」は、UEFI起動可能なディスクをセットしている場合に表示 ・UEFIアプリケーションが、優先順位を変更することがある

注1：ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

終了メニュー

設定項目	備考
変更を保存して終了する	
変更を保存せずに終了する	
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・システム時刻 ・システム日付 ・言語（Language） ・キーボードレイアウト ・管理者用パスワード ・ユーザー用パスワード ・ハードディスクパスワード ・起動時のパスワード ・所有者情報 ・セキュアブート機能 ・起動デバイスの優先順位 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「ご購入時の設定に戻す」を参照
変更前の値を読み込む	
変更を保存する	
変更を保存して電源を切る	